

はやま もり 麓山の杜みどり通信

発行元 公園振興事務所「とんがりふれあい館」
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL924-2194 FAX924-2195

植物は日々変化していますよ。

(麓山荘)日本庭園に咲く「紫陽花(あじさい)」



平成24年度「みどり講習会」

次回 9月9日(日)午前・午後開催
場所 麓山の杜【杜のエントランス】

テーマ「記念樹の育て方初歩講座」
時間 午前 10:30 午後 13:00

※ワンポイント 秋咲きの(モクセイ&サザンカ)
植付けや管理について

記念樹交付「10時~15時」他は事務所へ

ガーデニング ワンポイント

梅雨空の下でも植物は元気です

今年も半年が過ぎ、折り返しとなってしまいました。これからが梅雨本番となりますが、大雨の被害が発生しない事を祈るばかりです。しかし降雨があるからこそ植物をはじめ生物は生きていけるのですが、雨空の下の鮮やかなアジサイなどは何とも言えない風情がありますよね。その先にはまた暑い夏がそこまでやってきています。

【水やり】 梅雨明け後の水やりが大変になります。間違えると枯らしてしまう事もあります。特に今年植えた樹木などはまだ根の張りも少ないので水の管理は必要です。毎日少しずつあげるのではなく、乾いたらたっぷりあげるのがコツですよ。腐葉土を表面に敷いて乾燥を防ぐのも一つの方法です。水やりは意外と難しい作業です。

【肥料】 多くの樹種はこの時期にはあげません。軟弱に育ちやすく病虫害の被害を受けやすくなります。次の花芽が付きにくくなることもあります

【病虫害防除】 アメリカシロヒトリが発生し始めました。拡がる前に退治することが大切です。カイガラムシは幼虫のこの時期が防除しやすいです。アブラムシには予防の意味合いでアセフェート粒剤の定期的な散布が効果的です。また大事な松を守るのには枯れの原因となるマツノマダラカミキリを防除する薬剤散布が必要になります。葉が白い粉をふいた様なうどんこ病も発生し始めました。これからの時期は病虫害が数多く発生します。薬剤散布が必要になりますが、その場合は注意書きを守り安全に使用するようにしましょう。

【剪定】 郡山近郊では月遅れのお盆にあわせて庭木の剪定をする場合が多くみられます。ただし総ての樹木に言えますがこれからの時期は剪定をやり過ぎないようにします。葉の量が少ないと光合成が少なく丈夫に育つことができなくなります。除染の為にということで強剪定をして線量を下げたいという場合も同じことがいえます。

【植え替え】 こらからの時期はどの樹種もむきません。ただし鉢植えのものは可能です。

記念樹交付日イベント・緑化相談等予定表

次回交付日	みどり講習会	季節のワンポイント
10月14日	記念樹の育て方初歩講座	落葉樹の剪定について 牡丹やクリスマスローズなどの植付けについて

意外と知らない植物の世界

なぜ葉っぱは緑色なの？…… これってとても難しい質問だと思いませんか。緑化月間や緑を大切になどと自然イコール緑と捉えることが多くありますし用いられますよね。皆さんならこの質問にどう答えられるでしょうか。

植物は光合成を行って生存しています。その光合成は主に葉の細胞中に含まれる葉緑体により行われています。葉の色とは葉緑体の色ということです。光合成色素により吸収される光の質は赤色光です。青から緑色の光は利用されません。吸収利用されないために葉の色が緑色に見えるわけです。理解できましたか。

先に述べたように光合成は主に葉が行うと言いましたが、その他にどこで行うと思いますか？ 幹や枝などでも行っています。ケヤキやサルスベリなどの外樹皮（一番外側の樹皮）の内側は緑色をしています。外樹皮の薄い若い枝などならすぐ解りますよ。草などは茎も緑色ですよ。私たちは理科の授業で光合成は葉で行うものとしか習わなかったような気がします。あまりにも前のことなので記憶は定かではありませんが、それに光合成の件でもう一つ理解していない部分があります。二酸化炭素を吸収し酸素を放出することですが、根は逆に酸素を吸収し二酸化炭素を放出する呼吸を行っています。樹木が根腐れによって弱っているなどと聞きますが、これは根に酸素がいかない状態という事です。水やりとは水分と一緒に酸素も供給する事です。

街で見かけた植物

ヒメタイサンボク【姫泰山木】

アメリカ・バージニア州原産のマグノリア（モクレン）です。6月から7月にかけて芳香のある6センチ程の白い花をつける落葉樹です。タイサンボクというと常緑樹で大きな葉を連想しがちですが、この木は落葉樹などとの相性も良いですよ。葉はハウノキを小さくした感じです。ヒメという和名がついている樹種は他にもありますよね。

